

Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

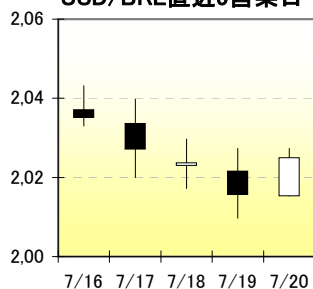


1. マーケット・レート

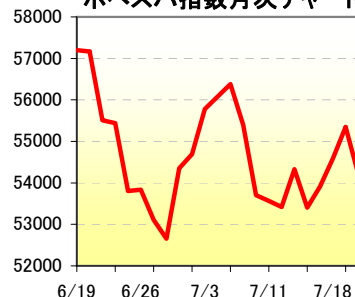
			7月16日	7月17日	7月18日	7月19日	7月20日	Net Chg
Forex	USD/BRL	Spot	2,0360	2,0270	2,0240	2,0160	2,0250	+0,0090
	USD/YEN	Spot	78,82	79,05	78,77	78,59	78,46	-0,1300
	EUR/USD	Spot	1,2275	1,2277	1,2274	1,2269	1,2162	-0,0107
	BRL/YEN	Spot	38,71	39,00	38,92	38,98	38,75	-0,2300
Swap	Dollar Clear	6MTH(p.a.)	1,74	1,75	1,86	1,81	1,79	-0,0226
		1Year(p.a.)	2,31	2,28	2,34	2,30	2,23	-0,0653
	Real Interest	6MTH(p.a.)	7,43	7,45	7,43	7,39	7,41	+0,0200
		1Year(p.a.)	7,33	7,42	7,39	7,34	7,39	+0,0505
Stock	Bovespa		53.402	53.909	54.583	55.347	54.195	-1.151,86
Bond	CDS Brazil 5y		140,34	139,08	141,83	139,84	142,80	+2,9550
	Global 40		129,500	129,250	129,500	128,875	129,125	+0,2500

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

USD/BRL直近5営業日



ボベスパ指数月次チャート



CRB商品指数月次チャート



2. 主要経済指標

3. 要人コメント

イベント	予想	実績	前回	
IBGE CPI IPCA-15(拡大/前月比)	0.18%	0.33%	0.18%	IMF: インフレ高進懸念からブラジルは年内にも利下げ政策を反転させる用意を整えるべき

4. 週間市況、トピックス

- 今週の為替相場は $US\$1=R\2.0370 で寄り付いた。
- 週初は中銀によるエコノミストサーベイで伯 GDP 予想成長率が9週連続で下方修正されたことが嫌気され、レアルは週間安値となる $US\$1=R\2.0430 まで下落した。
- 翌17日には注目された米FRB議長の上院銀行委員会での議会証言で、米追加緩和について踏み込んだ発言がなかったことからドルが買われ、レアルは売りが優勢となった。その後、バーナンキ議長が「景気浮揚に向け行動する用意がある」と改めて表明すると、レアルは2.02台後半まで買い戻された。
- 週央には米FRB議長の下院金融サービス委員会での証言が行われ、米連邦公開市場委員会が景気を押し上げるために一段の措置を講じると示唆したことを受けてレアルは買いが優勢となり2.0200を上抜け上昇した。しかし、中銀がアンオフィシャルに認めるレンジの上限である2.00台に近づいたことから市場では俄かに介入警戒感が強まり、レアルは売り戻された。
- 翌19日には7月のCOPOM議事録が発表され、追加利下げに含みを持たせる内容だったことから先物金利が下落し、レアルも売られた。しかし、米指標が軒並み予想を下回ったことを受けてQE3に対する期待が高まると、レアルもじりじりと買い戻しが優勢となり、週間高値となる $US\$1=R\2.0100 を付けた。
- 20日はスペインが2013年度予想成長率を下方修正したことが嫌気され、リスク資産の売りが優勢となった。レアルは朝方下落した後、終日2.0200から2.0250の間で小動きに推移し、結局 $US\$1=R\2.0250 で越週した。

当資料は相場情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。当資料は信頼できる情報源から得た情報に基づき作成したものです。その情報の正確性、安全性を保障するものではありません。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料は執筆者の見解に基づき作成されたものであり、弊社の統一された見解ではありません。当資料を使用することにより生ずるいかなる種類の損失についても弊社は責任を負いません。

Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A**5.来週発表される主要経済指標**

日付	イベント	予想	前回
7/23	FGV CPI IPC-S	---	0.22%
7/23	貿易収支(FOB)-週次	---	\$89M
7/24	経常収支(月次)	-\$4050M	-\$3468M
7/24	対内直接投資	\$5000M	\$3716M
7/25	FIPE消費者物価指数(週次)	---	0.20%
7/25	FGV消費者信頼感	---	123.5
7/26	FGV建設コスト(前月比)	---	1.31%
7/26	失業率	5.6%	5.8%
7/26	個人ローンデフォルト率	---	8.0%
7/26	貸付残高(前月比%)	---	1.7%
7/26	融資残高	---	2136B

6.来週の為替市場注目点**予想相場レンジ : 2.00~2.05**

ブラジルでは政府による 2012 年 GDP 予想成長率が 3.5%から 2.5%に下方修正された。更に中銀が 8 会合連続となる政策金利の引下げを実施する一方で、インフレ指数は徐々に上向きつつある。また、欧米を中心に経済指標の悪化が引き続き見られる中、米連邦公開市場委員会による追加緩和への期待が高まっている。来週末には米雇用統計が発表され、市場予想を下回る内容となった場合には更なる米追加緩和への期待感からリスク資産に買いが入るであろう。その場合、レアルも買われることが予想されるが、引き続き中銀による介入警戒感も強くボラティリティーは限定的となるであろう。

当資料は相場情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。当資料は信頼できる情報源から得た情報に基づき作成したのですが、その情報の正確性、安全性を保障するものではありません。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料は執筆者の見解に基づき作成されたものであり、弊社の統一された見解ではありません。当資料を使用することにより生ずるいかなる種類の損失についても弊社は責任を負いません。